

玉野

美しい港を次世代に 清掃イベントに市民200人



清掃活動を行う市民ら



ワークショップに参加する子どもたち

玉野商工会議所（岡山県）に事務局を置く宇野港魅力向上委員会は7月21日、市民参加型美化清掃イベント「みんなの宇野港の日」を開催した。同イベントは日本財団「海と日本プロジェクトin岡山」と連携して企画された。約1時間で缶やプラスチック容器など約500キログラムが集まった。ワークショップは、小学生とその保護者を対象として実施。注目を受けた量だけ水揚げする「受注漁」を営む夫婦を講師として迎えた。参加した親子は、瀬戸内海の環境問題などについて学んだ。同イベントの背景に

は、宇野港エリアをめぐる課題意識がある。同港は瀬戸内海の玄関港であり、同エリアは玉野市中心市街地に位置しているにもかかわらず、ごみが放置されていることがあった。美化は地域のボランティア清掃活動頼りになっっており、年間を通じての美観維持が課題となっていた。同イベントには、単なる「ごみ拾い」にとどまらず、地域主導による「ごみを捨てない意識の醸成」や「ポイ捨て削減に向けた啓発」に取り組む、宇野港の魅力向上・地域愛の醸成を図る狙いがあった。

同所担当者は「ワークショップは夏休みの思い出づくりや自由研究のため、参加者からも好評で、満足そうな様子が見られてうれしかった。同イベントは来年も継続予定。今後

も商工会議所ならではの「課題解決に向けた継続的の地域愛の醸成や地域な取り組みを進めてい資源の見直し、地域課きたい」と話している。